

請 願 第 1 3 号	平成26年11月5日受理
付 託 委 員 会	福祉常任委員会
件 名	国保事業への国庫負担金増額に関する件
紹 介 議 員	小 林 恵美子 議員
請 願 要 旨	
<p>八千代市の国保料は1世帯平均年約14万3,000円(介護分を除く)。「国保料引き上げ反対」の市民運動もあって、この6年間据え置きを実現してきました。</p> <p>それでも、保険料を払えず正規の保険証をもらえない方は3,824世帯(加入者の13%。26年8月現在)に及び、「医療抑制」が心配されています。</p> <p>相次ぐ年金引き下げ、消費税引き上げに暮らしを脅かされる高齢者にとって、「国保料を引き上げないで」の声は切実です。</p> <p>保険料が高い一番の原因は、国が法律で定めている「負担金」を年々減らしてきたことにあります。そのため八千代市では、この6年間、必要な「財源補填金」を繰り入れ、「国保料据え置き」を実施してきました。</p> <p>ところが来年度は、「新川周辺整備事業」などによる財政難・医療費の急増などを理由に、国保料の引き上げが行われようとしています。</p> <p>国民健康保険事業は、社会保障制度として大切な役割を果たしている「国民皆保険」の大黒柱です。</p> <p>国保事業の危機的な現状を打開するためには、市民や自治体に責任を転嫁するのではなく、国の責任で国庫負担金の大幅な増額をすることが緊急に求められています。下記の項目について、八千代市議会として国へ要請していただきたくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 医療費の45%を目標に国保事業への国庫負担金を大幅に引き上げるよう国に要望すること。</p>	